

海外安全対策情報（平成29年1月～3月）

1 社会・治安情勢

ベラルーシの治安は、おおむね良好ではあるものの、過去には爆発事件やショッピングモールでの通り魔事件も発生しています。不測の事態を避けるため、多くの人が集まる記念式典やコンサート、集会等においては十分に注意が必要です。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) ベラルーシ共和国内務省が発表した犯罪統計によれば、2016年1月1日から12月31日（2017年4月20日時点での最新情報）までのベラルーシにおける犯罪総数は92,943件で、前年同時期と比較し4.2%減少しています。主な犯罪の内訳は以下のとおりです。

- ア 窃盗37,121件（前年比8.2%減）
（うち住宅対象侵入窃盗）9,961件（同7.7%減）
- イ 公然窃盗1,891件（同10.6%減）
- ウ 恐喝106件（同24.3%減）
- エ 詐欺4,823件（同28.0%増）
- オ フーリガン犯罪4,066件（同2.8%増）
- カ 殺人及び殺人未遂437件（同3.3%増）
- キ 重傷傷害737件（同12.5%減）
- ク 強盗225件（同20.8%減）
- ケ 強姦及び強姦未遂137件（同5.5%減）

(2) 邦人被害事案は報告されていません。

(3) 2017年1月～3月における主な被害事案は以下のとおりです（当地の報道から作成）。

ア 1月9日、グロドノ市オジェシコ通り沿いにある高層マンションの外で怪我を負った女性が発見された。この直前、女性は知人男性とマンションの2階にあるその男性の部屋で飲酒をしていたことが明らかになった。口論になり、男性は女性を窓から突き落とすと脅し、女性があおるようなことを言ったため、男性はそれを実行した。現在男性は拘留されている。

イ 1月18日、ブレスト市でタクシーによる衝突事故が起こった。最初の情報によると、

タクシードライバーの男性は異常な速度で走行し、歩行者の横断待ちで横断歩道の前で止まっていた教習車に衝突した。事故後の交通警察の調査で男性が無免許運転をしていたことが明らかになった。

ウ 2月23日、グロドノ市近郊の畑で捜索依頼のんでいたタクシードライバーが死亡した状態で発見された。車もグロドノ市近くの森で発見されている。売上金を狙った乗客の犯行とみられる。現在犯人は捜索中である。

エ 3月25日、当国野党勢力が呼びかけた「意思の日」に合わせ、ミンスク市の地下鉄「アカデミヤ・ナウク」駅及びその前後の「チュリュスキントゥェフ公園」駅と「ヤクブ・コラス広場」駅周辺で、当局の許可を得ない形で集会を実施しようと集まっていた市民多数が、当国治安機関に拘束された。

また、ゴメリ市とブレスト市では、当局の許可を得た形で同様の趣旨の集会が実施された。

3 テロ・爆弾事件の発生状況
なし。

4 誘拐・脅迫事件の発生状況
なし。

5 日本企業の安全に関する諸問題
なし。

※上述の事案は全体の一部の情報です。定期的に報道を確認する等し、自身の安全確保に努めてください。